

横浜市民防災センター再整備 について

基本方針

- 「自分が生き残る」「周りの大切な人たちの命を守る」ための行動を身につけられる
よこはま地震防災市民憲章を周知し、自分と家族を守り、地域で助け合っていくために必要な行動について学び、知識だけではなく、具体的な行動を体験、習得できる機会を設ける。
- 横浜市の特性について理解を促す
横浜市で起こりうる災害被害の様子、特性を正確に伝え、災害は自分の身にも起きるとい意識を高める。自分でとらなければならない行動、備えておくべきこと(減災行動)について理解を深める。
- 幅広い世代、ニーズに対応した実践的なプログラムを提供する
来館者の年齢、属性、ニーズに合わせた具体的で実践的な体験プログラムを提供する。

特長

- ・いつでも誰でも防災・減災を学ぶことができる。
- ・他では体験できないリアルさで、防災・減災の行動を気づき・考えてもらうことができる。
- ・横浜駅に近く、公園と一体で市民が利用できる施設であり、平常時だけでなく、災害時の帰宅困難者一時滞在施設としても有効に活用できる機能を有している。

効果

- 横浜市民(法人を含む)
・地域特性や被害予測を知り、災害への備えを実行している。
・災害時に自分の命を守ることができる。
・地域防災のリーダーが育っている。
 - 子ども
・知識を身につけることにより、将来の横浜の安心を担う力が育っている。
・災害に対する不安を素直に表現し、大人に行動を促している。
- 自助・共助の取り組みによる市民及び地域防災力の向上
減災目標の実現

施設展開(案)

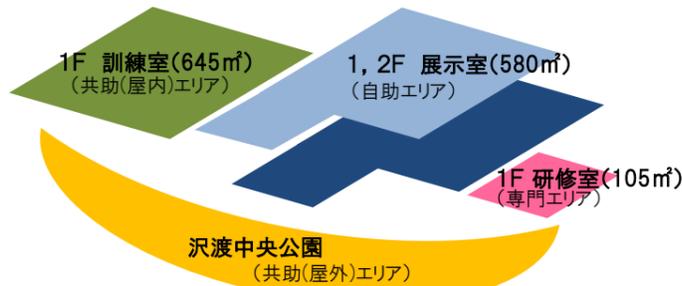
～再整備コンセプト～

「自分の命を守る」自助意識

「お互いに助け合う」共助意識の啓発と

その行動を起こすことができる人を育成する場

自助エリア	共助(屋内)エリア	共助(屋外)エリア	専門エリア
自助行動を中心に、減災行動への第一歩を体験	自助体験を振り返るとともに、共助行動について学ぶ	実際の災害時にとるべき行動を実体験し、確実に身に着ける	より専門的な知識や情報を習得し、減災知識、行動力を高めていく
すべての来館者	団体	ニーズにあわせて	ニーズにあわせて



共助(屋内)エリア

自助エリアの体験を振り返るとともに
大空間を活用して共助を学ぶ ●自助体験の振り返り

- ・ワークシートを活用し、体験を振り返る
- ・クロスロードなどの共助に関するワークショップ、救命講習などを開催



- 屋内消火栓・初期消火箱の操作体験
- 実大避難所運営ゲーム(HUG)



自助エリア

自助行動を中心に学習・体験

自分と家族の命を守る

YOKOHAMA災害タイムマシーン

臨場感あふれるシアターで横浜に起こりうる災害を想像

- ・過去と未来の災害を想定したストーリー
- ・映像、照明、音響の組合せで怖さを演出
- ・正面と左右にスクリーン、床面に津波・液状化を演出
- ・座席数45(1クラス分)



3次元地震動シミュレーター

自分の住まいの地域、建物等の揺れや被害を具体的に体感

- ・3次元振動、映像、音響の組合せで「地震」を再現
- ・震度階(地域)ごとの揺れや長周期地震動
- ・戸建て住宅から超高層など様々なシチュエーション
- ・大人10人程度が一度に体験
- ・家具類転倒・落下実験



地震が来るぞ!

地震発生から停電までの流れを体験し、身を守る行動を学ぶ

- ・テレビからの緊急地震速報
- ・地震発生までの行動
- ・地震発生時の身の守り方
- ・停電時の暗闇からの避難



備え!

家具類の転倒・落下防止を体験し、家庭での減災行動の実践を促す

- ・実物大の家具
- ・自分で固定、効果確認
- ・効果的な転倒・落下防止の展示



火事だ!

火災発生時の行動を実際に体験し、学ぶ

- ・住宅用防災警報器等の作動
- ・火災の熱さを体感
- ・大声で周知
- ・消火器による初期消火
- ・火災に対する備え(感震ブレーカー等)を学ぶ



煙はこわい!

煙の特性を知り、避難行動を学ぶ

- ・煙の視認性を体験
- ・適切な避難行動
- ・防火シャッターを体験



YOKOHAMA緊急情報

災害発生時、自分の街でどんなことが起きるのか、想定される被害やその特性を伝える

- ・ハザードマップを3DCGで表現
- ・横浜の地形の変遷



緊急時の情報伝達方法について知る

- ・119番通報
- ・災害伝言ダイヤル171
- ・津波警報伝達システム



様々な防災情報の提供

- ・体験の振り返りや防災Q&A
- ・防災情報Eメール登録など

運営面の工夫

[内容充実のために]

- ハードのみならずソフトを充実
 - ・来館者のニーズに合わせた複数のプログラムを用意
 - ・習得度に応じ職員が適切にアドバイス
 - ・セミナーなど年間を通して開催
- NPO法人、企業など民間活力との連携
 - ・質の高い知識・技術やサービスの提供
 - ・最新の防災用品等の紹介や普及等

専門エリア

より専門的な研修等による知識の習得

- ・防災の指導者のためのセミナー
- ・消防職団員、防災センター要員、自衛消防隊員等のための研修
- ・防火防災管理者講習等の開催

- 災害図上訓練(DIG)



共助(屋外)エリア

共助等の実践的な体験

- ・実際の炎の熱を体感しながら行う消火訓練
- ・地域防災拠点の資機材を使った救助やトイレ設営等の訓練

* 沢渡中央公園の再整備(神奈川区・環境創造局)と連携

- 放水体験



- 地域防災拠点の資器材取扱い



- 救助体験

